

岩手県金融経済概況（2026年5月）

1. 概況

県内経済は、一部に弱めの動きもみられるが、持ち直している。

最終需要の動きをみると、公共投資は、持ち直しの動きが一服している。設備投資は、増加している。個人消費は、緩やかに回復している。住宅投資は、弱い動きとなっている。この間、生産は、緩やかに回復している。雇用・所得環境は、緩やかに改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

2. 最終需要

公共投資は、持ち直しの動きが一服している。

先行指標である公共工事請負金額（2026年5月）は、6ヵ月連続で前年を下回った（前年比▲37.8%）。

設備投資は、増加している。

2026年3月短観（岩手県）の設備投資額をみると、2025年度は非製造業が前年度を上回る一方、製造業が前年度を下回っており、全産業では前年度を▲13.6%下回る見込みとなっている。2026年度は製造業と非製造業がともに前年度を上回っており、全産業では前年度を+3.1%上回る計画となっている。

個人消費は、緩やかに回復している。

百貨店売上高（全店舗ベース：2026年4月）は、9ヵ月連続で前年を下回った（前年比▲13.9%）。スーパー売上高（全店舗ベース：2026年4月）は、3ヵ月連続で前年を上回った（同+4.9%）。また、新車登録・届出台数（乗用車＜含む軽＞：2026年5月）は、2ヵ月連続で前年を上回った（同+1.3%）。

この間、サービス消費は、緩やかに増加している。

住宅投資は、弱い動きとなっている。

新設住宅着工戸数（2026年4月）は、3ヵ月連続で前年を下回った（前年比▲24.9%）。内訳をみると、持家（同▲26.0%）、貸家（同▲24.4%）、分譲（同▲14.3%）ともに前年を下回った。

3. 生産動向

生産は、緩やかに回復している。

鉱工業生産指数（季節調整値：2026年3月）は、3ヵ月連続で前月を上回った（前月比+3.4%）。主な業種の指数をみると、電子部品・デバイス等が低下した一方、生産用機械等が上昇した。

四半期の動きをみると、2026/1～3月は3期連続で上昇した（2025/7～9月：前期比+2.7%、10～12月：同+4.6%、2026/1～3月：同+9.0%）。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、緩やかに改善している。

有効求人倍率（季節調整値：2026年4月）は、1.10倍と、前月（1.10倍）と同水準となった。

雇用者所得（県内合計値：2026年3月）は、名目賃金指数（前年比▲0.2%）が前年を下回った一方、常用雇用指数（同+1.2%）が前年を上回ったことから、2ヵ月連続で前年を上回った（同+1.0%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品：2026年5月）は、引き続き前年を上回った（前年比+2.3%）。

6. 企業倒産

企業倒産（2026年5月）は、4件、負債総額1,088百万円となった（前年同月は11件、負債総額1,013百万円）。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2026年4月）をみると、預金、貸出ともに前年を上回った。貸出約定平均金利（2026年4月）は上昇している。

以 上

お問い合わせ：
日本銀行盛岡事務所
019-624-3622

<ホームページ>

